

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：第二福澤保育センター	種別：認可保育所
代表者氏名：齊藤 三千代	定員（利用人数）： 135名（134名）
所在地：〒222-0026 横浜市港北区篠原町 2823	
TEL：045-434-1135	
ホームページ： http://kuonen.kids.coocan.jp/index.html	

【施設・事業所の概要】

開設年月日 1979年12月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 久遠園		
職員数	常勤職員： 28名	非常勤職員： 23名
専門職員	保育士 34名	看護師 1名
	管理栄養士 1名	栄養士 2名
	調理師 1名	
施設・設備の概要	(居室数) 保育室7室、厨房1室、事務室1室、職員休憩室1室、ホール	(設備等) 広い園庭があり、探索活動や異年齢での交流が自然とできています。斜面を利用した設計になっているため、子どもたちが園庭に出やすくなっています。ダイナミックな遊具もあり、年齢に合った遊びの環境構成を考慮しています。

第二福澤保育センターは、JR および横浜市営地下鉄ブルーラインの新横浜駅から住宅街の中を8分ほど坂を上った丘の上にあります。向かいには、横浜市立篠原中学校があります。第二福澤保育センターは、1979年（昭和54年）12月に社会福祉法人久遠園によって開設されました。運営法人は、他に横浜市内に3園、川崎市に1園、認可保育園を運営しています。鉄筋2階建の園舎は、築40年以上たっていますが、2017年に改築工事をしていて、安全面や衛生面での配慮がされています。1000坪以上ある広い園庭には、芝生の斜面や2つのグラウンド、遊具や砂場がある2つの園庭、畑などがあります。園庭には、桜やひのき、夏みかん、柿などの樹木が植えられています。豊かな自然の中での遊びを楽しむことができます。定員は、135名（産休明け～5歳児）、開園時間は、平日（月曜日～金曜日）7時～20時、土曜日が7時～18時です。

③理念・基本方針

理念

- ・健康で「心豊かな子」の育成に力を尽くし、社会に貢献する。
- ・保育の質の向上に努める。

保育目標

- ・元気で明るい子
- ・豊かな人間性を持つ子
- ・自立した子

基本方針

- ①安全な環境のもとで、子どもが安心して生活できる保育を提供します。
- ②子どもの健康を守り、基礎体力の増進を心がけます。
- ③多様でゆとりある保育プログラムを工夫し、豊かな情操を育てます。
- ④集団生活の経験を生かして、フェアな心の芽を育てます。
- ⑤人とかかわる楽しさを育み、コミュニケーション能力の基礎を育てます。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・自然を取り入れた保育の中で、友だちとの関わりを通して共有する楽しさや社会性を学ぶ力を培っていきます。
- ・「ほめて ほめて さとす」という園児の才能を伸ばす保育です。
- ・専門講師による絵画指導、剣道・運動指導、リトミックを行い、情操教育にも力を入れています。
- ・散歩を通して、季節の変化を感じたり、地域との関わりを行っています。
- ・固定観念にとらわれず、発想力を大切にし、園児が主となって話し合ったり、やっていく中で行事の出し物を創り上げていきます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月25日(契約日)～2023年1月11日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	3回(2017年度)

⑥総評

◆特長や今後期待される点

【特長】

・子どもたちは、外でたくさん遊んで心と身体を充足し、様々な学びを得ています

園は、保育理念に「健康で『心豊かな子』の育成」を掲げ、自然の中での遊びを多く保育に取り入れています。雨でなければ毎日、子どもたちは広い園庭で遊び、斜面を駆け回ったり、園庭の遊具で遊んだり、砂場で友だちとごっこ遊びをしたり、グラウンドでボール遊びや追いかっこをしたりとそれぞれが好きな遊びを見つけ、遊びこんでいます。自然豊かな園庭では、雨上がりの泥んこ遊びやトラップを仕掛けてのカブトムシ採り、風に舞う落ち葉に合わせてダンスをするなど、季節ごとの遊びを楽しむことができます。保育士は、危険がないように遊びの様子を見守り、できたことを一緒に喜び、子どもの発見に共感しています。遊びを見つけられない子どもには、保育士が寄り添い、一緒に遊びを探しています。それぞれの遊びを十分に楽しんだ後は、自然に集団での遊びが始まっていて、幼児は自分たちで話し合っ規則を決め、遊びを発展させています。異年齢の自然な交流もあります。外遊びを十分に楽しんだ後は、子どもたちは、製作やお絵描き、絵本読みなどの静かな活動に集中して取り組んでいます。それぞれの廃材製作を持ち寄ってお店屋さんごっこが始まったり、一人がピアノの練習を始めると皆も集まって自主練習が始まったりする姿もあり、子どもたちが遊びを通して様々な学びを得ていることが伝わりました。

・保育の質の向上につながるよう職員の育成に力を入れています

子どもが毎日楽しく通える園であるよう、園は、保育の質の向上に力を入れています。保育士は、日々のクラスでの振り返りや職員会議等で子どもの姿について話し合い、自己の保育を振り返っています。園内研修として、嘔吐処理や救急法、感染症研修などのほか、初任、2～3年目、中堅などの階層別研修も実施しています。新人職員に対しては先輩職員がプリセプターとなって個別指導をし、相談にのっています。クラスごとにテーマを決めて年間を通して学びを深めるカンファレンスやテーマごとにグループを作り課題解決に向けて取り組むプロジェクト会議(今年度は環境整備、保健衛生、異年齢保育)などがあり、職員が主体的に課題解決に向けて取り組めるようにしています。年度末には、発表する場も作っています。このような取り組みを通して、目指す方向性が共有され、職員間のコミュニケーションも深まっていて、保育士は連携し、モチベーションをもって質の向上に向けて取り組んでいます。

・地域の福祉施設として子育て支援に力を入れています

法人理念に基づき、園は、地域の子育て支援に力を入れています。子育て支援事業として、週1回の園庭開放、ランチ交流、泥んこ遊び、ふれあい遊び、離乳食講座、育児講座などを実施しています。保護者の個別の相談にも応じています。子育て支援は、コロナ禍であっても、感染状況に配慮しながら継続して実施しています。特に園庭開放は人気で、毎回参加者がいます。観察時にも、保育士への相談や園児との交流だけでなく、保護者同士で情報交換している姿も見られ、地域の子育て家庭にとって大切な場であることがうかがえます。また、一時保育事業も実施していて、クラスの中で受け入れています。

【さらなる取り組みが期待される点】

・さらなる積極的な情報発信の取り組みが期待されます

法人のホームページを開設し、系列園とともに園の情報を掲載して発信しています。ホームページでは、法人理念・保育の基本方針とともに、園のページで、各クラスの定員や開園時間などを掲載しています。一方で、保育の内容に関する情報は、別ページで法人系列の3園の写真を掲載し、四季ごとの主な開催行事を紹介するのみとなっています。ホームページの情報は、入園希望者等にとって主要な情報源のひとつとなっていることを踏まえ、園の特長や保育実践の内容を、写真などの視覚的な情報を併用して、より分かりやすく発信していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価に初めて取り組む職員も多く、受審にあたり職員一人ひとりが保育を見直すとてもいい機会となりました。

日常の保育について、子どもの気持ちに寄り添い、恵まれた環境を最大限に生かし、豊かな経験をおこなっていけるようにと向き合っていることに対して評価いただき嬉しく思います。また、改善できることは早急に検討し、更に計画性のある取り組みに努めてまいります。

保護者の皆様には多くの方にアンケートへのご協力と、温かいメッセージをいただき励みになりました。これからも子どもたち、保護者の皆様にとって安心して楽しく過ごせるよう、職員一同尽力いたします。

社会福祉法人 久遠園
第二福澤保育センター
園長 斎藤 三千代

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり